

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	クラフトの里管理運営事業	会計名称	一般会計		担当課	経済雇用戦略課	
		予算科目	7 款 1 項 5 目	事業番号	3290	所属長名	小笠原幸男
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	木曾智仁	
法令根拠等	伊予市なかやまクラフトの里条例				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造 賑わいのある観光の振興					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	市民と観光客との交流を通じ、まちの魅力と活力を高める。						
事業の対象	道路利用者、観光客、市民及び施設管理者			事業の目的	道の駅なかやまとして、道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、木材工芸品の販売など、市の活性化に資する「地域連携機能」を併せ持つ施設運営を行う。		
事業の内容 (整備内容)	施設管理は指定管理者が行う。市内の特産品や木材工芸品等の販売、そば打ちや木工クラフト製品製作などの体験を行うとともに、市内の観光施設案内や情報発信を行う。 市は指定管理者に指定管理料を支払うとともに、施設が円滑に運用できるよう、維持管理を行う。			昨年度の課題に対する具体的な改善策	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、未だ入込客数に伸び悩みが見られる。地方創生臨時交付金等を活用したイベントを計画することで、利用客の確保に努める。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	3年度予定	9月末の実績	3年度実績
直接事業費	9,286	11,946	0	11,405	0	23,348	入込み客数	人	159819		77725	143924
財源内訳												
国庫支出金	979	0	0	11,405	0	11,405						
県支出金		0	0	0	0	0						
地方債		0	0	0	0	0						
その他		0	0	0	0	0	販売額	千円	191207		95182	186094
一般財源	8,307	11,946	0	0	0	12,827						
職員の人工(にんく)数	0.30	0.30				0.30						
1人工当たりの人件費単価	7,812	7,841				7,841						
※ 直接事業費+人件費	11,630	14,298				25,700						
主な実施主体	株式会社プロシーズ		実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		指定管理料							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年間の合計		
					10,400	10,400	10,400	10,400	10,400	52,000		
成果指標	指標	入込み客数	単位	⇒	区分年度	前年度	3年度	4年度	目標	毎年度		
			人		目標	130000	150000	150000	150000			
	指標設定の考え方	施設活用の効果の判断基準となる入込み客数とする。			実績	159819	143924					
	指標で表せない効果	道の駅の性格上、情報収集や休憩のみの利用にとどまり、必ずしも入込客数の増加が経済循環に繋がるとは限らない。										

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		そば道場の屋根の老朽化に伴う雨漏りが見られ、運営に障害が出ている。早急に対策を進める。									
事務事業評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	A	事業成果・工夫した点	これまで施設それぞれに定めていた条例に基づき指定管理協定を結んでいたが、施設条例を一本化した上で、指定管理協定についても一元化したことで、事務効率が高まった。なお、指定管理期間は令和3年度から5か年間である。 施設整備に関して、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用した空調設備の改修を行うことで、換気機能の向上、感染症対策に努めたほか、そば道場の雨漏りに対する応急的な修繕を行い、衛生面での不安を解消することができた。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D				
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4					
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が	B			
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	A				
			コスト効率	5 4 3 2 1				5 4 3 2 1	3		
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4						
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	A	事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 中山スマートインターチェンジの供用開始により、中山地域の新たな玄関口として、また、観光交流拠点として、重要度・注目度が増している施設であることから、事業の継続が必要であると判断する。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3					14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4					
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	A				
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3						
		施策への貢献度	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4						
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	4	合計点が	A					
		コスト効率	5 4 3 2 1				5 4 3 2 1	3			
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3							
評価	所属長	効率性	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1	5 4 3 2 1	3	合計点が	A	道の駅としてのリニューアルオープン、中山スマートインターチェンジの供用開始から一定の年月が経過する中、新型コロナウイルス感染症のまん延等の影響もあつてか、利用者が伸び悩んでいる状況にある。 指定管理者との緊密な連携のもと、積極的な情報発信、効果的なイベント実施、新商品の投入、職員の接客改善等、様々な手段・手法により施設の利用促進を図る必要がある。		

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
			【行政評価委員会委員選定事業】 中山スマートインターチェンジが供用し、高速道路からの流れ込みを期待したが、新型コロナ禍の影響で来場者数は伸び悩んでいる。アフターコロナを見越し、反転攻勢を強めイベント・サービスの質の向上に取り組むこと。	
			<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。			
<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。			

行政評価委員会の答申	外部評価	<p>答申の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信を一生懸命頑張っているのは伝わってくるが、ただこなしているだけな感じもする。工夫が必要である。 ・施設の魅力を広げるためには、変わらないものがあること・常に変わっているものがあることを大切にしてほしい。 ・中山スマートインターチェンジを利用すれば、松山市内から中山地域に来るのは、とても早くて便利。とべ動物園やえひめこどもの城等の施設と連携して、ファミリー層を呼び込むための工夫を考えてみてはどうか。 ・クラフトの里でしか買えないものがあるとよい。中山地域らしい産品を使って、新たな魅力を創出してもらいたい。 ・施設のポテンシャルをうまく発揮できていない。管理者に対して改善に向けた提案を引き続きしてもらいたい。 ・虫栗を釣り餌として売るなど、今まで思いもなかった切り口で新たな価値を見出すような考え方が必要である。
------------	------	---

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性		コメント欄 集客の増加に繋がるよう、指定管理者との連携を密に行うこと。
	<input checked="" type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	